富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山市城南公園の野鳥（2007年6月～2008年5月）

著者	桃花鳥の会
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	32
ページ	155-159
発行年	2009-02-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=883

富山市科学博物館研究報告第32号，pp.155-159；(2009)

資　料

富山市城南公園の野鳥（2007年6月～2008年5月）*

桃花鳥の会
富山市科学博物館
939-8084富山市西中野町1-8-31

Records of Birds in Jyonan Park, Toyama City, Toyama Prefecture, Japan, June 2007 to May 2008.

Toki-no-kai
Toyama Science Museum
1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

富山県は，海岸から標高3000mの北アルプスまで，海岸，平地，山地，高山と狭い範囲に様々な環境が存在し，それぞれの環境に応じた鳥類相がみられる。これまで，海岸，平地（河川，扇状地），低山，山地，亜高山，高山で鳥類相の調査が行われてきた（後述）。しかしながら，市街地の鳥類相に関する調査はほとんど行われていない。

富山市科学博物館のボランティアの１グループである「桃花鳥の会」では，富山県の過去の動物に関する文献調査等を行ってきた。今回，富山市近郊の市街地の鳥類相を明らかにする目的で，富山市科学博物館に隣接する城南公園で2007年6月～2008年5月に行った鳥類調査の結果を報告する。なお，調査は継続中である。

調査地と方法

城南公園は，富山市南部に位置し，昭和54年11月富山市科学文化センター建設時に整備され，南東は平成19年の富山市科学博物館（富山市科学文化センターから名称変更）のリニューアルオープンに合わせ駐車場となった（図1）。北側に児童公園と富山市科学博物館，東側に富山県立近代美術館があり，中央は芝生広場になっている。北側，南側，西側に樹木が植えられている。公園の西側は，国道41号線を挟み商業施設と住宅地，北側と東側が住宅地，南側は道路を挟み商業施設がある。

公園には多種の樹種が混植されており，ケヤキ（樹高約15m），プラタナス類，ヒマラヤスギやメタセコ

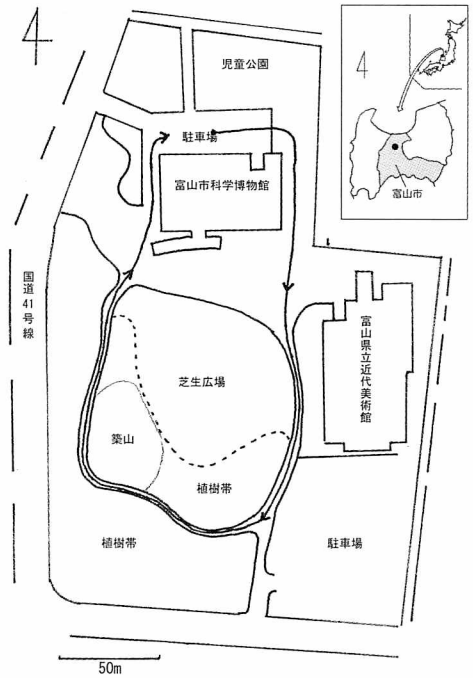


図１　調査地の見取り図（矢印は調査ルート）





図２　調査地の風景（上，北側の公園；下，南側の公園）

＊富山市科学博物館研究業績第373号

表１　確認された鳥類

調査年	2007年							2008年				
調査月日	6/2	7/10	8/8	9/6	10/3	11/6	12/12	1/10	2/6	3/6	4/2	5/1
天候	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	小雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
調査時間	(5:00)～6:00	5:07～5:40	5:05～5:50	5:06～6:00	5:40～6:14	6:06～6:35	6:45～7:11	7:15～7:50	6:37～7:15	6:00～6:33	5:15～6:10	4:55～5:30
調査人数	6	5	4	5	4	6	3	4	7	3	5	5

和名	渡り1)	場所	個体数											
ゴイサギ	留鳥	上空	3	1	4						2			
ダイサギ	夏・冬	上空						2						
コサギ	留鳥	上空		1	5	8		6						
アオサギ	留鳥	上空	4			1							2	
コサギ属の一種2)		上空									3		6	1
カルガモ	留鳥	上空		2										
														1
トビ	留鳥	上空						1						
キジ	留鳥													1
ドバト	留鳥				2					5				
キジバト	留鳥		4	5	2	2	1	3	1	1	1	2	5	3
ツツドリ	夏鳥												1	
ツバメ	夏鳥		4	2	3									3
ハクセキレイ	留鳥		1						1	3	1	1		1
セグロセキレイ	留鳥		1							1				
ヒヨドリ	留鳥		2	2	2		2	10	10	6	15	1	3	4
モズ	留鳥							1						
シロハラ	冬鳥												1	
ツグミ	冬鳥									1		4	5	2
ウグイス	留鳥												1	
エゾムシクイ	夏鳥													1
シジュウカラ	留鳥			1				1					2	
アトリ	冬鳥									30	2	1	2	
カワラヒワ	留鳥		4	1	2						6	4	3	4
シメ	冬鳥									1	1			
スズメ	留鳥		4	14	24	2	4	4	3	7	6	1	8	10
ムクドリ	留鳥		10	34	78	46	17				14			18
オナガ	留鳥					5					1	1	2	
ハシブトガラス3)	留鳥		1	5	8	2	3	3	3	5	10		2	
ハシボソガラス3)	留鳥		2	2	15	4	8	8	3	2	6	3	3	2
ハシブトカラス属の一種4)	留鳥	上空	2	1	3	131	121	120	146	14	206	125	33	
不明小鳥									5			6		
計			19	56	128	190	153	135	160	28	243	136	48	30
種数（上空含む）	28		12	12	11	8	6	10	6	11	12	9	14	12
種数（上空除く）	23		10	9	9	6	6	7	6	11	11	9	13	12

1)松木（2005）による区分。
2)コサギ属のコサギ，チュサギ，ダイサギ，アマサギ属のアマサギのいずれかと思われる。
3)城南公園と周辺で，目視，鳴き声で確認したもので，上空で確認したものや建物に止まっているものなどを含み，4)に含まれる場合もそうでない場合もある。
4)ハシブトガラス又はハシボソガラス。

イヤ（樹高約20m）などが植樹されている。西側の国道41号線沿いのクロマツ並木に接して樹林帯が連続し，一部築山になっている。下枝の地上から高さ約1.3mまで切り払われ見通せる。下草は刈られ，管理されている。

北側には，ケヤキ，ヒマラヤスギ，アカマツ，イロハモミジなどが植樹されている（図2上）。中央部には芝生が植えられ，その周辺には，メタセコイヤ，モミジバフウ，スズカケノキ，トウカエデ，アカマツ，エンジュ，ヤエベニシダレ等が，南西の築山とその周辺には，アカマツ，シラカシ，マテバシイ，ハナミズキ，タイサンボク，イスノキ，ニシキギ，モチノキ，イチョウなどが植えられている（図2下）。国道41号線に面した道路沿いの公園の縁には，クロマツが植えられ，生け垣がある。

調査は，2007年6月から2008年5月にかけ毎月１回，早朝（夜明け頃）30～50分間，城南公園を会員3～7名がゆっくり歩き（図1），出現する鳥の種，個体数を直接観察と鳴き声を参考に記録した。上空を飛ぶ鳥もカウントした。

平成20年度の桃花鳥の会のメンバーは，大住剛，大野博美，押川たか子，金子玲子，熊木信男，田口松男，二宮美加，増田美智恵，満保清憲，水野洋子（五十音順）で，担当学芸員は南部久男である。野鳥の同定は主に熊木が行い，全体のとりまとめは，南部が行った。

確認した鳥類

2007年6月から2008年5月の12回の調査で，上空を含むと28種の鳥類が，上空を除くと23種が確認された（表1）。城南公園で確認された上空を除く鳥類を，松木（2005）の富山県の野鳥の渡り区分により分けると，留鳥16種，夏鳥3種（ツツドリ，ツバメ，エゾムシクイ），冬鳥4種（ツグミ，シロハラ，アトリ，シメ）になる。

ほぼ毎月みられたのは，キジバト，ヒヨドリ，スズメ，ハシボソガラス，ハシブトガラスで，5回以上みられたのは，ハクセキレイ，カワラヒワ，ムクドリであった。ツツドリ，モズ，エゾムシクイは１回だけ確認された。

上空で目撃されたハシブトガラス属（ハシブトガラス又はハシボソガラス）は，大部分が北から南へ向かう個体であった。城南公園から約1.4km北に位置する富山市城址公園は，ハシブトガラスとハシボソガラスの塒になっていることが知られ（日本野鳥の会富山県支部，2005；富山市環境部環境保全課，2006，2007；富山市，2008），今回上空で観察されたハシブトガラス又はハシボソガラスは，塒の城址公園から餌場へ向かう途中の個体であると思われる。

富山県における地域別の鳥類の報告

富山県の環境（海岸，平地，山地，高山）ごとの，近年の主な鳥類の報告について概説する。海岸では常願寺川河口を含む浜黒崎海岸の野鳥の報告がある（日出嶋,1991）。平地では，黒部川，常願寺川，神通川，庄川，小矢部川の鳥類の報告（建設省河川局治水課・財団法人リバーフロント環境センター，1994a，b，1996，1997a，b），黒部川，常願寺川，庄川の各流域扇状地の用水付近の報告（穴田ら，2003；穴田，2006，穴田・湯浅，1999）がある。大田（1990）は，富山市（合併前の旧富山市）の都市鳥について概説している。低山では，呉羽丘陵（山野・穴田，1994；穴田ら，1998），富山市山田，三熊の低山（湯浅ら，1997；高橋，2005；穴田・南部，2006）の報告がある。山地では，有峰ダム周辺（穴田，1996），亜高山では，立山カルデラ（穴田・林，1994），高山では，立山（山野ら，1999）の報告がある。

鳥類目録には富山県（1980），富山県野鳥保護の会（1989），松木（2005），日本野鳥の会富山県支部(2008)の報告があり，前2者は，各種の確認記録も含む。

城南公園鳥類目録

本調査で確認した鳥類を，日本鳥学会（2000）の分類に従い記す。

コウノトリ目　CICONIIFORMES
　サギ科　ARDEIDAE
　　ゴイサギ　*Nycticorax nycticorax*（Linnaeus）
　　ダイサギ　*Egretta alba*（Linnaeus）
　　コサギ　*Egretta garzetta*（Linnaeus）
　　アオサギ　*Ardea cinerea* Linnaeus
ガンカモ目　ANSERIFORMES
　ガンカモ科　ANATIDAE
　　カルガモ　*Anas poecilorhyncha* Forster
タカ目　FALCONIFORMES
　タカ科　ACCIPITRIDAE
　　トビ　*Milvus migrans*（Boddaert）
キジ目　GALLIFORMES
　キジ科　PHASIANIDAE
　　キジ　*Phasianus colchicus* Linnaeus
ハト目　COLUMBIFORMES
　ハト科　COLUMBIDAE
　　ドバト　*Columba livia* var. *domestica* Linnaeus

キジバト　*Streptopelia orientalis*（Latham）
ホトトギス目　CUCULIFORMES
ホトトギス科　CUCULIDAE
ツツドリ　*Cuculus saturatus* Blyth
スズメ目　PASSERIFORMES
ツバメ科　HIRUNDINIDAE
ツバメ　*Hirundo rustica* Linnaeus
セキレイ科　MOTACILLIDAE
ハクセキレイ　*Motacilla alba* Linnaeus
セグロセキレイ　*Motacilla grandis* Sharpe
ヒヨドリ科　PYCNONOTIDAE
ヒヨドリ　*Hypsipetes amaurotis*（Temminck）
モズ科 LANIIDAE
モズ　*Lanius bucephalus* Temminck & Schlegel
ツグミ科　TURDIDAE
シロハラ　*Turdus pallidus* Gmelin
ツグミ　*Turdus naumanni* Temminck
ウグイス科　SYVIIDAE
ウグイス　*Cettia diphone*（Kittlitz）
エゾムシクイ　*Phylloscopus borealoides* Portenk
シジュウカラ科　PARIDAE
シジュウカラ　*Parus major* Linnaeus
アトリ科　FRINGILLIDAE
アトリ　*Fringilla montifringilla* Linnaeus
カワラヒワ　*Carduelis sinica*（Linnaeus）
シメ　*Coccothrautes coccothrautes*（Linnaeus）
ハタオリドリ科　PLOCEIDAE
スズメ　*Passer montanus*（Linnaeus）
ムクドリ科　STURNIDAE
ムクドリ　*Sturnus cineraceus* Temminck
カラス科　CORVIDAE
オナガ　*Cyanopica cyana*（Pallas）
ハシボソガラス　*Corvus corone* Linnaeus
ハシブトガラス　*Corvus macrorhynchos* Wagler

謝辞

高畠晃氏，穴田哲氏には文献について，太田道人氏，坂井奈緒子氏には植生についてご教示いただき，富山市環境部環境保全課には城址公園のカラス調査についてご教示いただきました。関係の皆様に厚くお礼申しあげます。

参考文献

穴田哲，1996．有峰の鳥類．常願寺川流域（有峰地域）環境調査報告書．pp.287-298．富山市科学文化センター．
穴田哲，2006．鳥類部門．黒部川合口流域地区生態系調査報告書（平成16年度，平成17年度調査）pp.302-329．富山県魚津農地林務事務所・富山県水生生物研究会・水土里ネット富山．
穴田哲・穴田潤子・高橋輝男・多奈田功・古川隆一・小峠拓也・戸田昭博・市村由紀・戸田美幸・河野晃子，1998．富山市ファミリーパークの鳥類．ファミリーパーク地内自然環境総合調査報告．pp.151-168．
穴田哲・林梅夫，1994．鳥類．立山カルデラ自然環境基礎調査報告書．pp.5-16～5-30．富山県．
穴田哲・湯浅輝久・湯浅純孝，2003．鳥類部門．庄川合口ダム流域生態系調査報告書（平成13年度，平成14年度調査）．pp.259-273．富山県砺波農地林務事務所・富山県水生生物研究会．
穴田哲・南部久男，2006．里山地域（富山県中央部）の鳥類（補遺）．里山（富山県中央部）の自然環境調査報告書．Ⅱ　植物・動物・自然環境・その他編．pp.173-186．富山市科学文化センター．
穴田哲・湯浅輝久，1999．鳥類部門．常願寺川流域生態系調査報告書（平成8・9年度雄山，常願地区土地改良事業計画特殊調査調査．pp.119-139．富山県砺波農地林務事務所・富山県水生生物研究会．
穴田哲・湯浅輝久・湯浅純孝，2003．鳥類部門．庄川合口ダム流域生態系調査報告書（平成13年度・平成14年度調査）．pp.259-273．富山県砺波農地林務事務所・富山県水生生物研究会．
日出嶋，1991．鳥類．富山市浜黒崎海岸自然調査報告書．pp.100-110．富山市科学文化センター．
建設省河川局治水課・財団法人リバーフロント環境センター，1994a．常願寺川の鳥類．平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑鳥類調査編．pp.270-282．山海堂．東京．
建設省河川局治水課・財団法人リバーフロント環境センター，1994b．神通川の鳥類．平成4年度河川水辺の国勢調査年鑑鳥類調査編．pp.283-299．山海堂．東京．
建設省河川局河川環境課・財団法人リバーフロント環境センター，1996．庄川．（CD－ROM）．平成5年度河川水辺の国勢調査年鑑鳥類調査，両生類・爬虫類・哺乳類調査，陸上昆虫類等調査編．山海堂．東京．
建設省河川局河川環境課・財団法人リバーフロント環境センター，1997a．黒部川（CD－ROM）．平成6年度河川水辺の国勢調査年鑑鳥類調査，両生類・爬虫類・哺乳類調査，陸上昆虫類等調査編．山海

堂.東京.
建設省河川局河川環境課・財団法人リバーフロント環境センター，1997b．小矢部川．（CD－ROM）．平成7年度河川水辺の国勢調査年鑑鳥類調査，両生類・爬虫類・哺乳類調査，陸上昆虫類等調査編．山海堂．東京．
松木鴻諮，2005．富山県鳥類目録（平成17年3月1日現在）．鳥たちの戦略．pp.185-189．桂書房．富山．
日本鳥学会，2000．日本鳥類目録　改訂第6版．土倉事務所，京都．345pp.
日本野鳥の会富山県支部，2008．年間鳥合わせ（1995-2007）．愛鳥(59):8-9.
日本野鳥の会富山県支部，2008．タカ渡り調査・カラス生息数調査．愛鳥(54):5-7.
大田保文，1990．富山市の都市鳥．全国主要都市の都市鳥．pp.62-64．都市鳥研究会編．
高橋輝男，2005．富山県中央部の里山（富山市三熊・山田村）の鳥類．里山（富山県中央部）の自然環境調査報告書Ⅰ環境・動物・植物編．pp.63-73．富山市科学文化センター．
富山県，1980．富山県の鳥獣．241pp.
富山県野鳥保護の会，1989．富山県の鳥類，自然環境管理計画策定のための調査．104pp．富山県．
富山市環境部環境保全課，2006．平成17年度カラス対策調査業務報告書．pp.49．（http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kankyou/kankyouhozen/）
富山市環境部環境保全課，2007．カラス減少対策結果報告．pp.6．（http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kankyou/kankyouhozen/）
富山市，2008．平成19年度カラス対策調査業務報告書．pp38．（http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kankyou/kankyouhozen/）
山野浩平・穴田哲，1994．呉羽丘陵の鳥類．富山市呉羽丘陵自然環境調査報告．pp．211-234．富山市科学文化センター．
山野浩平・佐藤武彦・篠田耕児・西岡満・松田勉・湯浅輝久，1999．鳥類．立山地区動植物種多様性調査報告書．pp.73-78．富山県．
湯浅輝久・山野浩平・篠田耕児，1997．富山市古洞池の鳥類．富山市科学文化センター研究報告，(20):91-101.